

社協だより 萩

Vol. 56

2014
6/1



募集します

しあわせ写真コンテスト

このコンテストは、写真で日常生活にある笑顔、ふれあい、助けあい、交流する「幸せな姿」を残し、いつまでも語り継いでいこうとするものです。

身近な地域の福祉を推進するということは、こうしたステキな笑顔が私たちの地域にたくさん広がり、写真を撮る方も見る方も、幸せを感じることかもしれません。

日常にあるたくさんのしあわせな一コマをお待ちしています。

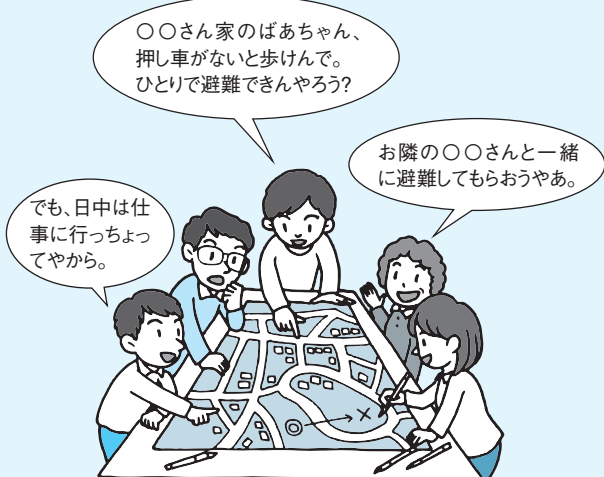
地域(集落)で『身を守る仕組み』づくり

事前打ち合わせ

地域のリーダーさんと目的や流れの確認をします。

座談会

7.28の災害を振り返り、一時避難場所や支援が必要な方について話し合います。



整理

支援の必要な人(要支援者)や支援できる人(支援者)を整理し、地域で助け合う仕組みづくりを考えます。

避難訓練

避難経路を確認したり、要支援者と支援者の関係づくりをしたりします。

地域で座談会をお考えの方！

社会福祉協議会本所、各事務所までご相談ください。

暮らしを守る仕組みづくりのお手伝いをします！

主催 萩市・萩市社会福祉協議会

「減災のすすめ」

～地域の力で命と暮らしを守る～

昨年の山口・島根豪雨災害では、田万川、むつみ、須佐地域に甚大な被害をもたらしました。災害による被害を最小限に止めるためには、地域住民の防災意識を高め、日頃からの備えや近所で声掛けをしたり、顔の見える関係づくりが重要です。

大規模な災害が発生した場合、「公助」には限界があります。「自助」だけでは解決困難なことも、地域での協力、助け合いなど「共助」の充実を図ることで減災につながります。

昨年の災害をもとに集落ごとに地域の点検をし、支援の必要な人たちが災害に対して命を守っていくための仕組みづくりを、地域で考えてみませんか。



地域にこんな方
いらっしゃいませんか？



大雨が降ったら…？
避難所まで行けるかなあ？
非常持出品って何？

始めてみませんか

脳の健康楽習会

「脳トレ」でお馴染みの川島隆太教授、くもん学習療法センターによって、開発・科学的証明された方法で、平成23年度から認知症予防教室を開催しています。
この方法は、福祉施設や地域の介護予防教室として全国で取り組みが広がり、海外でも広まってきています。

脳の健康楽習会

この楽習会では、くもんの教材を使い、簡単な計算や読み書き、そして参加者同士のコミュニケーションを図っていきます。自分のペースで楽しみながら、脳のトレーニング方法を習慣にし、それを地域に還元していただきたいと思います。

スマート・エイジング

現在は「超高齢社会」といわれています。その中年を重ねることに賢く対処し、個人・社会が知的に成熟することをスマート・エイジングといいます。

年を重ね、より豊かに生活できるようにしていきたいものです。

新しいつながり

この楽習会は単に脳の健康を保つだけでなく、そこに集まった人たちが、友だちとなり、新しいつながりがさらに広がっています。

昨年度、萩の受講生の中には、お茶会や勉強会をされた方もいます。
新しい自分へ一歩踏み出してみませんか。

参加者

- ・対象者／要支援・要介護認定を受けていない方
- ・内容／30分程度の脳トレを実施
- ・参加費／1か月 2,300円（テキスト代含む）

●第4期 本所会場（萩市総合福祉センター）

- ・開講／9月第1水曜日より毎週水曜日 10時から12時
- ・募集期間／7月1日～8月10日
- ・定員／20名（多い場合は抽選となります）
- ・申込先／萩市社会福祉協議会本所 ☎0838-22-2289

●第3期 福栄会場（福栄コミュニティーセンター）

- ・開講／10月第1木曜日より毎週木曜日 9時30分から10時30分
- ・募集期間／8月1日～9月15日
- ・定員／10名
- ・申込先／萩市社会福祉協議会福栄事務所 ☎0838-52-0338

サポーター

- ・対象／脳の健康楽習会に参加された方と会話を楽しめる方
- ・活動／笑顔とコミュニケーションで明るい学習場面を作る。簡単な採点。
概ね月1～2回。事前に研修を行います。

※サポーターとして参加される方は申込先へ。



災害ボランティアセンターがつないだ「縁」

昨年7月28日の豪雨災害によって、萩市の東部地域に甚大な被害がありました。地域を襲った濁流は、住民の皆さんの大切なものを押し流してしまいました。しかし、地域には人と人とのつながり「縁」が残されていました。社会福祉協議会は、この縁を大切にし、様々な支援を行いました。

●萩市災害ボランティアセンター開設

早期復旧に向け、7月31日より萩市災害ボランティアセンターを開設しました。

全国から8,000人余りのボランティアさんが駆けつけました。また、センターの運営には、地域の小学生から高齢者まで、様々な方が応援してくださいました。

●萩市生活応援センター

被災者の皆さんの生活復興を目指し、9月1日から萩市生活応援センターに移行しました。

田万川・須佐地域には、生活支援相談員を置き、被災さ

萩市災害ボランティアセンターの収支決算

収	入
山口県共同募金会助成金	4,779,780円
萩市補助金	1,500,000円
寄附金(災害支援金)56件	1,224,488円
預金利息	77円
収入合計	7,504,345円

支	出
災害ボランティア保険料	1,413,700円
薬・スポーツドリンク代	1,148,991円
活動消耗品・備品代	1,319,009円
車輛整備代	215,565円
車輛ガソリン代	939,192円
車輛リース代	675,181円
仮設トイレ設置代	919,625円
電気・水道・ガス代	223,133円
資器材修理代	60,160円
資器材輸送代	398,475円
コピーカウンター料	112,092円
電話・FAX・切手代	68,722円
振込手数料	10,500円
支出合計	7,504,345円

●復興と感謝の「五縁まつり」

江崎・小川・須佐・弥富地

れた方の心に寄り添うため、訪問調査を実施しました。

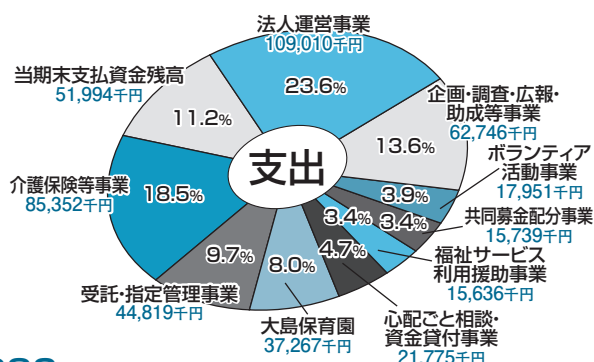
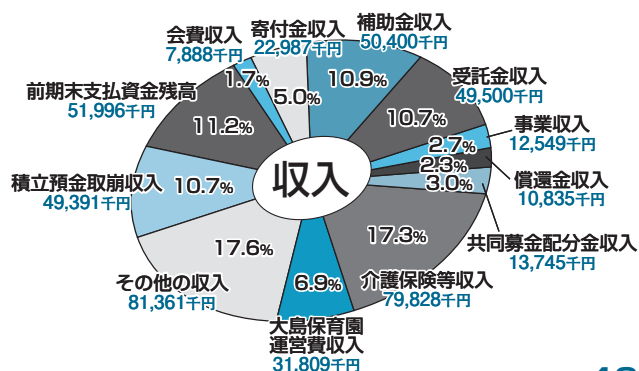
また、災害が風化しないよう、災害時や平時時に自分たちのできることを考え、地域づくりに取り組んでいるところです。

●仮設住宅の支援

たくさんの方の協力で作ったまごころ表札のプレゼント、ボランティアによる仮設住宅の訪問、集会所を中心としたコミュニティづくりなど、一日でも早く元通りの生活ができるよう願いました。

域と県内外のボランティアの皆さんの5つの縁を紡ぐため、「五縁まつり」を開催しました。ボランティアの鉢植えづくり、もちつき、各種団体の出店、ワークショップなどを通して、人々の笑顔が集う一日となりました。

平成25年度萩市社会福祉協議会決算概要



総額 462,289千円

地域の福祉 あれこれ

4/10

噛んで食べる喜び

田万川

下小川ふれあいサロンでは、月1回、食事とゲームや交流を通して、楽しいひと時を過ごしています。

加齢とともに口腔内が乾燥して免疫力の低下、感染症リスクも高まるなど、口の健康管理は大切です。そこで、食事前には参加者全員で、口をしっかりと大きく動かして遅口言葉の体操をしています。

歯がある人も義歯の人も噛んで食べる喜びを味わうために、サロン会場や自宅でも使える言葉体操が広がっています。



4/25

いつまでも元気でいてね

むつみ

今年も月一回のふれあい給食が始まりました。朝早くから調理ボランティアさんが集まり、子どもたちの絵をお品書きに添えた素敵なお弁当ができました。

配達ボランティアさんは、見守りかねて、困っていることはないか、元気であるか、必ず一声かけて渡されています。利用される方は、満面の笑顔で出迎えてくださり、毎月とても心待ちにされています。

相手を想う、温かい気持ちがたくさんあると嬉しくなりますね。



4/16

歌声軽やかに…

須佐

須佐老人憩の家で、75歳以上の一人暮らしの方々を対象とした『ふれあい昼食会』を開催しました。

弥富の岩本真知子さんを講師に招き、メリハリのあふれる声の出し方から、滑舌の良くなる口の動きを重点的に指導していただいた結果、最後の合唱では皆さんの元気な歌声を聞くことができました。

給食VOの会の皆さんが作られた弁当に大満足でした。年1回のふれあい行事は、皆さんの近況報告の場となり、「また出て来んさいーねえ…」と、参加者同士が再会を約束しました。



5/13

八十八の時間

旭

「この紐は何?」「この大きな木の定規は何?」佐々並小学校と寿クラブ(老人クラブ)の田植えでは、子どもたちが昔の道具の使い方を次々と尋ねます。

お米という字は、「八十八」と書きます。種まき、苗づくり、田の準備をして、『田植え』を迎えます。植えてからも、施肥、草刈、毎日の水の管理など、とにかく手間がかかるのです。「どんな風に大きくなるのか、たまには見に来ます」「足がはまってこけそうでした」「手で植えるのは大変でした」というのが子どもたちの感想でした。

世代を超えた技・知識の伝導を感じた田植えであり、秋の収穫が楽しみです。



善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

氏名	住所	備考	金額
萩			
岡崎 和博	城東南区の1	父/和夫	金一封
金子 賢子	濁渕	夫/忠司	金一封
長富 信一	相島下	父/六男	金一封
中原 賢作	大井馬場下	母/安恵	金一封
奥富 輝之	三見畦田	母/文子	金一封
榎坂 美子	越ヶ浜1区の2	夫/勝美	金一封
脇山 孝男	三見床並	母/綾子	金一封
時山 保雄	玉江1区の1	母/君子	金一封
藤井 信介	北古萩1区の2	父/茂美	金一封
岸 正夫	鶴江2区の1	母/菊江	金一封
吉村 育佳	三見浦1	母/シズエ	金一封
山本 忠夫	後小畑の2	父/勇	金一封
下瀬 一馬	新川東の1	父/榮雄	金一封
永住 勝彦	前小畑1区	母/恵美子	金一封
河村孝二郎	平安古東区の3	母/スミエ	金一封
江口 将智	堀内1区の3	長女/瑠美	金一封
大草 正敏	浜崎2区の1	父/彦市	金一封
柴田美佐恵	雑式町	父/山平馨	金一封
羽仁 紘夫	土原3区の2	弟/郁夫	金一封
山本 芳子	樽屋町	夫/一彦	金一封
津森理恵子	上野の1	母/山根照子	金一封
河村 光一	宮崎市昭和町	父/俊夫	金一封
田辺 勝	大井坂本	父/弥平	金一封
山中 伸彦	古萩町の1	父/芳夫	100,000円
伊東 勝	江向3区の3	妻/ミチ子	金一封

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※平成26年3月1日～4月30日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
茂刈 利子	河添の1	夫/賢一	金一封
大枝 満	越ヶ浜3区	母/澄江	金一封
杉山 吉利	上野の1	妻/輝子	金一封
玉田 輝代	土原2区の2	夫/敏夫	金一封
川上			
岡 裕子	横坂	夫/伸清	金一封
田万川			
田中 民雄	小川18区	母/イサヨ	金一封
藤井千津子	松崎	夫/英雄	金一封
堀野 成	中組	母/絹子	金一封
安達 弘校	小川4区	妻/良子	金一封
むつみ			
小川 洋平	市下	祖母/文枝	金一封
川渕 正臣	神奈川県川崎市	母/清子	金一封
蔵田 清	市上	母/貞子	金一封
須佐			
伊藤スミエ	堀田	養母/智子	金一封
児玉 寿吉	青葉台	父/達治	金一封
和田 光生	横屋丁	母/ヒサ	金一封
旭			
山本 暁子	佐々並市	夫/哲男	金一封
福栄			
森田 雄児	下薙野	母/ミチ子	金一封
岩武 福子	奥畑	夫/克彦	金一封
阿武 尚	別所	父/利明	金一封
匿名			20,000円

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
榎みなと山口合同新聞社山口新聞営業局	下関市東大和町		60,000円
松浦 芳江	土原1区の1		金一封
匿名			10,000円
南萩スモールビジネス	東田町西区の2		10,000円
川上			
藤本 貞子	三徳	見舞返し	金一封

氏名	住所	備考	金額
田万川			
介護サービスぬくもり	要二		金一封
須佐			
大賀 敏男	青葉台	見舞返し	金一封
旭			
山本 善治	蔵屋		金一封
(香典返し・一般寄付合計60件2,262,880円)			

物品寄付

物品名	氏名	住所
萩		
オムツ6箱、尿とりパッド3箱 匿名		

物品名	氏名	住所
官製はがき126枚	匿名	

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

お知らせ

災害から学ぶ ～暮らしを守る地域の力～

昨年の豪雨災害では、萩市東部地域において甚大な被害をもたらしました。しかし、人的被害が少なかったのは、日中であったことや日頃からの地域のつながりがあったからだと思います。

この災害から地域を点検し、防災意識を高め、地域で支え合う仕組みづくりを考えるための講演会を開催します。ぜひご来場ください。

- 日時 6月13日(金)13:30～16:00
- 会場 田万川コミュニティセンター
- 内容 「私にやさしいまちをつくるには!？」
呉市社会福祉協議会 近藤吉輝さん
「7.28あの時…」

田万川地域からの報告

「減災のすすめ」説明

- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

ひまわりの苗、お分けします

昨年7月、山口・島根豪雨災害を受けた地域が元気を取り戻せますように…。そんな思いをのせた「ひまわりの種」が熊本のア蘇より届きました。

この種を学校・学級やクラブ活動などで「ひまわりの苗づくり」をしていただき、田万川、むつみ、須佐以外にも希望される方に配付します。

- 受付 6月16日(月)まで(一人10本まで)
- 配布 6月20日(金)以降
- 料金 無料
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

法と福祉のセミナー開催

地域福祉と法律相談センターをつなぐことを目的として、「法と福祉のセミナー」が毎年開催されています。弁護士と福祉関係者が寸劇などを通して、今年のテーマである「相続と遺言」について解説します。

- 日時 6月24日(火)14:00～16:00
- 場所 サンライフ萩
- 入場料 無料
- 主催 萩法律相談センター

しあわせ写真コンテスト募集

日常生活の中にある笑顔、ふれあい、助けあい、交流など、しあわせ(福祉)を題材として撮影された写真を募集します。

- 応募期間 7月1日(火)～8月31日(日)
- 規格 ワイド4つ切版、4つ切版、A4版。
カラー、白黒、タテ、ヨコは自由。
電子メールで応募の場合、JPEG形式、2MB以内
- 要項 ①3年以内に撮影した自作品で、未発表のもの
②応募作品は、返却しません
③応募料は、無料
- 表彰 入賞作品(15点程度)を選び、賞状及び副賞を授与。第10回萩市社会福祉大会で表彰。
※8月1日付の社協だよりに申込用紙を差し込みます。

『防災キャンプ』を開催します

次世代を担う子どもたちの防災意識を高めるとともに、人を思いやる心や行動できる力を育てるために、夏休みに『防災キャンプ』を1泊2日で開催します。

- 日時 8月20日(水)9:30～21日(木)14:30
- 場所 萩セミナーハウス
- 対象 市内の小学5年生から中学3年生
定員30名(応募多数の場合は抽選)
- 申込み チラシ配布後、学校を通じて申込み

ジュニアボランティア出前講座

本会は、萩市、山口県社会福祉協議会と昨年、萩市災害ボランティアセンターを運営しました。地元の小中学生が運営ボランティアとして参加し、“おもてなし”をしたところ、多くのボランティアの人たちから高い評価を受けました。そこで、児童生徒が災害ボランティアセンター活動について学び、災害時に自分のできることを考えます。

- 場所 各学校(学級)他
- 対象 小学5年生～中学3年生、子ども会
- 申込み 申込用紙をFAXにより送信してください。
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所



自分たちの地域で 楽しく過ごしたい

ひだまりの里 浅野 定子

むつみ地域の人たちが、立ち寄り場所として望まれて開設された「ひだまりの里」。

以来、ひと息つきにお茶を飲みに寄られる方、バスの待ち時間や診療所の帰り際にむつみのちよつとした「たまり場」として、皆さんが活用されています。また、誰もが入りやすいようになっており、季節にはお雛様やこいのぼりを飾り、それを見に来られる方もいらつしやいます。

私は毎週月曜日の当番となり、まずは一人暮らしの4、5人に声をかけ、出かけることに慣れてもらうことから始めました。今では、人が人を呼び、毎週14人から15人の人が集まっています。

毎回活動費を徴収し、その中で皆さんがやりたいことを行っています。畑にある野菜を持ち寄り、昼食作りやゲームに歌、時には生け花が得意な方が先生となって、全員で生け花を体験するなど、参加した人が

先生でもあり、生徒でもあり、まさに「めだかの学校」となりました。

そして、私たちは、こうした場所があることの感謝の気持ち、自分も何か役に立ちたいという気持ちを参加者全員が抱いています。「活動費の一部を募金にしようやあ」「いつも使わせてもらうーとるけ、ひだまりの里の前の草を抜こうやあ」と誰かが言えば、「そねーしういーね」と、皆でできることを考えて行っています。

皆さんがこの集まりを楽しみにしてくださっていることが何よりも私の活力です。「自分の地域で楽しく過ごしたい」その場所の一つが、ひだまりの里になることを願っています。

